

令和6年度(2024年度)

熊本県学力・学習状況調査 結果概要

1 調査の概要

(1)実施期間 令和6年(2024年)11月29日(金)~12月9日(月)

(2)調査対象 市町村立小学校第3~6学年、中学校第1~2学年

(※義務教育学校第3~8年含む。熊本市を除く。)

小学校		中学校	
調査対象校数	調査対象児童概数	調査対象校数	調査対象生徒概数
236校	約35,000人	120校	約18,000人

(3)調査事項 教科に関する学力調査【小学校】国語、算数【中学校】国語、数学、英語
 質問紙調査【児童生徒用】学習習慣や生活習慣、友達や学校との関わり等
 【教師用】授業改善の状況等

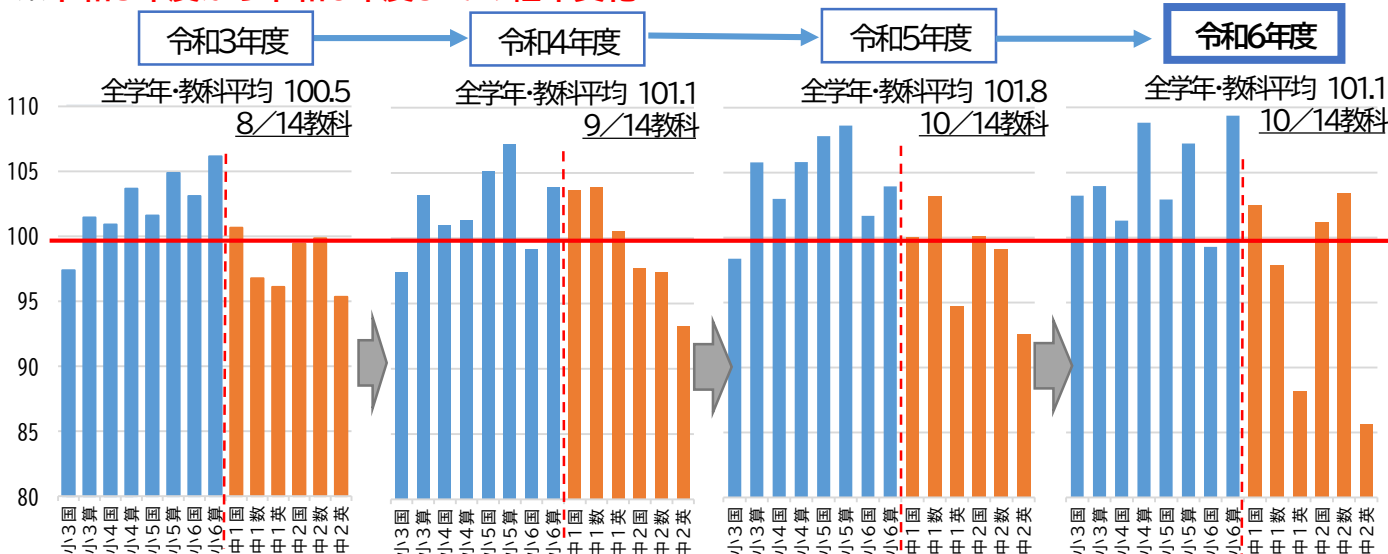
2 教科に関する調査結果概要

※数値は、全国平均値を100とした時の県平均の割合
 ※全国平均値は、同調査を受けた他県等の結果を含めた参考値

学年	小学3年		小学4年		小学5年		小学6年		中学1年			中学2年		
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
熊本県	103.3	104.0	101.3	108.9	103.0	107.2	99.2	109.3	102.4	97.9	88.1	101.3	103.4	85.6
熊本県 (R5年度)	98.4	105.8	103.0	105.8	107.8	108.6	101.7	104.0	100.0	103.2	94.7	100.1	99.1	92.5
熊本県 (R4年度)	97.4	103.3	101.0	101.3	105.1	107.2	99.2	103.9	103.7	103.9	100.6	97.7	97.4	93.2
熊本県 (R3年度)	97.4	101.5	100.9	103.7	101.6	104.9	103.1	106.2	100.7	96.8	96.1	99.4	99.9	95.3

正答率が全国平均以上だった教科は、小学3~5年の国語、小学3~6年の算数、中学1、2年の国語、中学2年の数学である。

※令和3年度から令和6年度までの経年変化

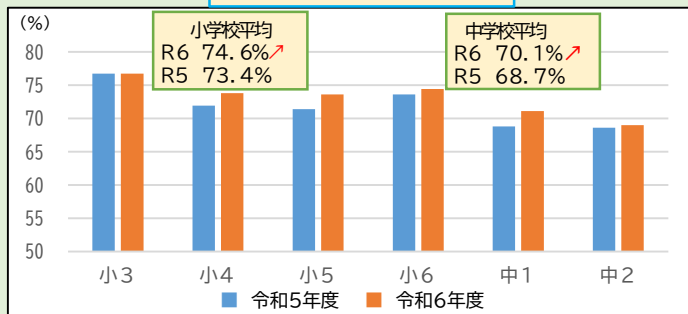


全国平均以上の教科は全14教科中10教科となった。本調査を開始した令和元年度から、今回初めて、小3国語、中2数学が全国平均を上回った。中学校の英語に課題が見られる。

3 質問紙調査の主な結果概要

重点指標1：授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。(肯定的に回答した割合)

児童生徒



教師

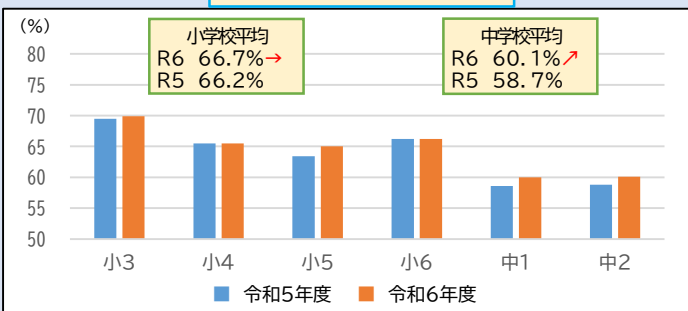
○あなたは、単元の中で、児童生徒が、課題の解決に向けて、自分で考えたり、自分から取り組んだりする学習活動を設定していますか。(R6新規)

R6	小学校	中学校
	95.7%	92.6%

自分から取り組んでいると回答した児童生徒は、小中学校ともに向上している。学習活動を設定したと回答した教師は、90%を超えており、児童生徒の意識と約20ポイントの差がある。

重点指標2：授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。(肯定的に回答した割合)

児童生徒



教師

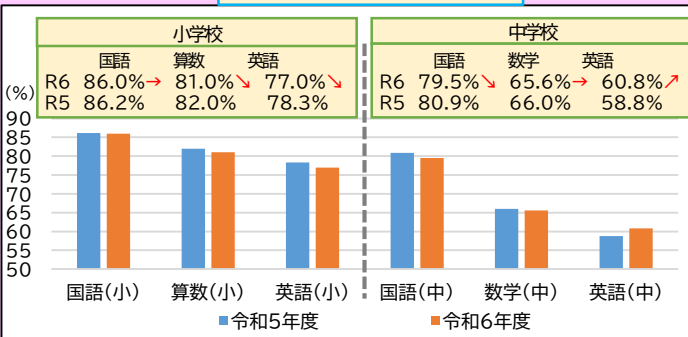
○あなたは、単元の中で、児童生徒が、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発言や発表する学習活動を設定していますか。(R6新規)

R6	小学校	中学校
	91.3%	87.5%

工夫して発表していると回答した児童生徒は、小学校では同程度、中学校では向上している。学習活動を設定したと回答した教師は、約90%であり、児童生徒の意識と20ポイント以上の差がある。

重点指標3：授業の内容は、よく分かりますか。(各教科において)(肯定的に回答した割合)

児童生徒



教師

○あなたの授業では、児童生徒の理解の状況や習熟の程度など定着確認等を行い、補充的な学習や発展的な学習を実施するなど、個に応じた指導の充実が図られていますか。

校種	R5年度 (%)	R6年度 (%)
小学校	91.8%	92.8%
中学校	82.2%	83.6%

よく分かると回答した児童生徒は、中学校の英語において向上している。個に応じた指導の充実を図っていると回答した教師の割合は、小中学校ともに向上している。

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」(本県の教育行動指標)に関する調査項目(肯定的に回答した割合)

児童生徒

○先生はクラスのみんなのことを、ほめたりはげましたりしてくれますか。(小3-4)先生はクラスのみんなのことを、ほめてくれますか。

校種	R4年度 (%)	R5年度 (%)	R6年度 (%)
小学校平均	94.3%	94.0%	94.4%
中学校平均	93.8%	92.8%	92.8%

教師

○あなたは、授業等で関わる児童生徒に対して、学校生活の中で、児童生徒一人一人の良い点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか。

校種	R4年度 (%)	R5年度 (%)	R6年度 (%)
小学校教師	98.9%	98.6%	98.1%
中学校教師	96.7%	97.0%	97.4%

ほめてくれると感じている児童生徒の割合は高く、褒めるなどの取組を行っている教師の割合も高い。

※今後、調査の詳細な分析を行い、本県の成果と課題を検証し、対策を講じて参ります。